

日本で一番地球に優しい工業団地を目指して 協同組合国母工業団地工業会



～地球の環境に優しい活動に取り組む～

協同組合国母工業団地工業会(江藤嘉彦理事長 組合員27社)は、団地組合として地球環境問題にいち早く取り組み、緑のカーテンづくりを始め環境保全活動の一環として様々な環境整備事業に取り組んできた。

組合では日本で一番地球に優しい工業団地を目指して、甲府市地球温暖化対策実行計画が提案する地球の環境に優しい活動として、「緑のカーテン事業」に8年前から取り組み、ブドウの苗を組合の事務室の窓の外

や壁面に這わせて育ててきた。現在、ブドウの木はカーテンのように組合事務所を覆っており、自然の力を利用した夏場の省エネルギー対策に効果を上げている。また、この事業には多くの組合員企業も参加し取り組んでおり、ブドウ



事務室の窓を覆う緑のカーテン(左)
緑のカーテンのブドウ(右)

やゴーヤ等による緑のカーテンづくりにそれぞれが挑戦している。組合内の事業所で、四季折々に変化する緑が環境の変化を演出しており、カーテンとしての温度調節の役割だけでなく、若干の収穫も楽しめるようになりつつある。

また、環境整備事業では、団地の東側を流れる鎌田川に桜並木を整備した。甲府市からの支援も受け平成20～21年の2か年をかけ鎌田川右岸の全長1.2kmにわたり100本の桜を植樹、その後、土手の草刈り等の管理を実施し、団地周辺の景観形成に大きく役立っている。さらには、団地内のグリーンベルトの管理や団地内一斉清掃も実施しており、団地の景観保全に効果を上げている。

それ以外にも、組合では環境調和型工業団地を目指す方針を確立、組合員企業による共同リサイクル事業、廃棄物の資源化、太陽光発電の導入などにも取り組み、地球環境問題について組合員企業が共通の認識のもと日本で一番きれいで美しい工業団地づくりを目指している。



桜並木草刈り